

# **SUSTAINABLE DEVELOPMENT** GCALS

学校法人服部学園 服部栄養専門学校 理事長・校長 / 医学博士

農林水産省「食育推進会議」委員 「食育推進評価専門委員会」座長

はっとり ゆきお

服部



### はっとり ゆきお

## 服部 幸應

学校法人服部学園 服部栄養専門学校 理事長・校長 / 医学博士

農林水産省「食育推進会議」委員
「食育推進評価専門委員会」座長

#### 日本食普及親善大使。

東京都出身。立教大学卒。昭和大学医学部博士課程修了。 藍綬褒章及びフランス大統領よりレジオン・ドヌール勲章シュ ヴァリエ、国家功労勲章シュヴァリエ並びに農事功労勲章オフィ シエを受章。厚生大臣表彰・文部大臣表彰、食品産業功労賞(食 品普及特別賞)受賞。(公社)全国調理師養成施設協会会長、(一社) 全国栄養士養成施設協会常任理事、(一社)全国料理学校協会会 長、(一社)和食文化国民会議議長、NPO日本食育インストラクター 協会理事長、農林水産省「食育推進会議」委員・「食育推進評価 専門委員会」座長、「東京都食育推進委員会」座長、内閣府・厚 生労働・農林水産・文部科学各省委員、「早寝早起き朝ごはん全 国協議会」副会長、東京都「地域特産品認証委員会」委員、昭和 大学(医学部)客員教授、東京農 業大学客員教授、東京大学(総合癌研究国際戦略推進)講師、他多数。 TVやラジオでも活躍。

著書に、「服部幸應の日本人のための最善の食事」(日本能率協会マネジメントセンター)、「服部幸應の食育読本」(C&R研究所)、新版「食育の本」(キラジェンヌ)、「英訳付きニッポンの名前図鑑和食・年中行事」(淡交社)、その他多数。令和2年1月現在





# 食育基本法

平成17年6月17日 法律第六十三号

**Diversity** 

生物多様性

Sustainability Ecology

持続可能性

環境保全性

#### 第3次 食育推進基本計画 1/4

|                            | 第3次基本計画作成時值(2015度) | 現状値<br>(2018度) | 目標値<br>(2020度) | 達成状況 |
|----------------------------|--------------------|----------------|----------------|------|
| ① 食育に関心を持っている国民の割合         | 75.0%              | 76.0%          | 90%以上          | Δ    |
| ② 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる 「共食」の回数 | 週9.7 回             | 週10.0回         | 週11回以上         | Δ    |
| ③ 地域等で共食したいと思う人が共食する割合     | 64.6%              | 77.6%          | 70%以上          | 0    |
| ④ 朝食を欠食する子供の割合             | 4.4%               | 5.5%           | 0%             |      |
| ⑤ 朝食を欠食する若い世代の割合           | 24.7%              | 26.9%          | 15%以下          | •    |

出典: 平成30年度 食育白書 (令和元年6月4日公表)

#### 第3次 食育推進基本計画 3/4

|   | 第3次基本計画作成時值(2015度) | 現状値<br>(2018度)  | 目標値 (2020度) | 達成状況 |
|---|--------------------|-----------------|-------------|------|
| ③ ゆっくりよく噛んで食べる国民の割合                                 | 49.2%              | 50.2%           | 55%以上       | Δ    |
| <ul><li>食育の推進に関わるボランティア団体等において活動している 国民の数</li></ul> | 34.4 万人 (2014度)    | 35.6 万人 (2017度) | 37 万人以上     | Δ    |
| ⑤ 農林漁業体験を経験した国民(世帯)の割合                              | 36.2%              | 37.3%           | 40%以上       | Δ    |
| ⑥ 食品口ス削減のために何らかの行動をしている<br>国民の割合                    | 67.4%<br>(2014度)   | 71.0%           | 80%以上       | Δ    |

出典: 平成30年度 食育白書(令和元年6月4日公表)

#### 第3次 食育推進基本計画 2/4

| V  | 第3次基本計<br>画作成時值<br>(2015度) | 現状値<br>(2018度)   | 目標値 (2020度) | 達成状況 |
|--|----------------------------|------------------|-------------|------|
| ⑥ 中学校における学校給食実施率   | 87.5%<br>(2014度)           | 93.2%            | 90%以上       | 0    |
| ⑦ 学校給食における地場産物を使用する割合  | 26.9%<br>(2014度)           | 26.4%<br>(2017度) | 30%以上       |      |
| ⑧ 学校給食における国産食材を使用する割合  | 77.3%<br>(2014度)           | 76.7%<br>(2017度) | 80%以上       |      |
| 9 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を<br>1日2 回以上 ほぼ毎日食べている国民の割合                 | 57.7%                      | 58.6%            | 70%以上       | Δ    |
| ① 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日<br>2回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合                 | 43.2%                      | 39.7%            | 55%以上       | •    |
| 生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから<br>① 適正体重の 維持や減塩等に気をつけた食生活<br>を実践する国民の割合 | 69.4%                      | 67.7%            | 75%以上       | •    |
| ® 食品中の食塩や脂肪の低減に取組む食品企業の<br>登録数                                 | 67 社 (2014度)               | 103 社 (2016度)    | 100 社以上     | 0    |

出典: 平成30年度 食育白書(令和元年6月4日公表)

### 第3次 食育推進基本計画 4/4

|  | 第3次基本計<br>画作成時值<br>(2015度) | 現状値<br>(2018度) | 目標値 (2020度) | 達成状況 |
|--|----------------------------|----------------|-------------|------|
| が 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や<br>作法等を継承し、 伝えている国民の割合 | 41.6%                      | 49.6%          | 50%以上       | Δ    |
| 18 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承している若い世代の割合      | 49,3%                      | 66,3%          | 60%以上       | 0    |
| 19 食品の安全性について基礎的な知識を持ち、<br>自ら判断する国民の 割合        | 72.0%                      | 77.0%          | 80%以上       | Δ    |
| ② 食品の安全性について基礎的な知識を持ち、<br>自ら判断する若い世代の割合        | 56.8%                      | 67.3%          | 65%以上       | 0    |
| ② 推進計画を作成・実施している市町村の割合                         | 76.7%                      | 84.8%          | 100%        | Δ    |

# SUSTAINABLE GEALS DEVELOPMENT GEALS

世界を変えるための17の目標







































# 2015年 持続可能な開発サミット



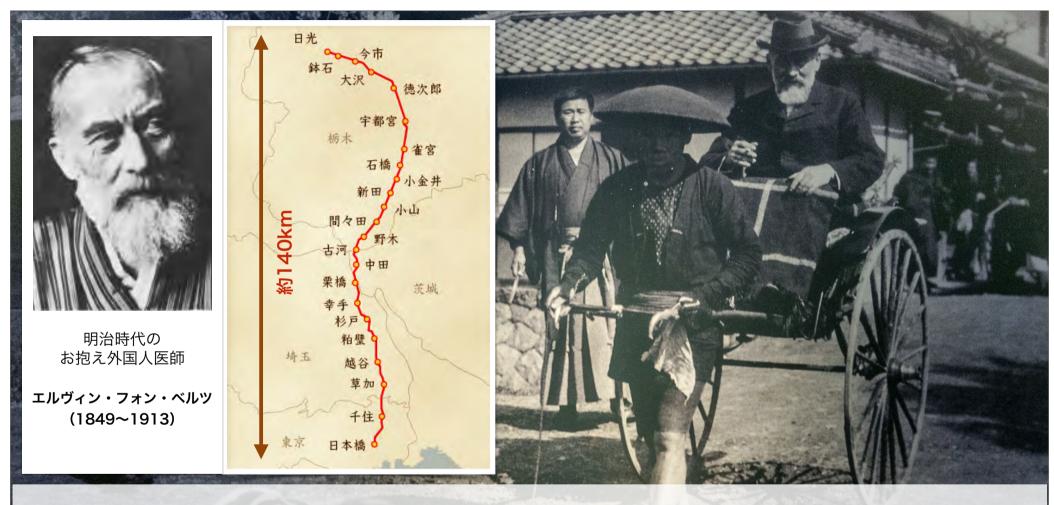
国際連合広報局 7



食育「三本柱」に 「SDGs」のゴール 17個すべてがふくまれる

> 食育にも SDGsのような **ピクトグラム**表現を I

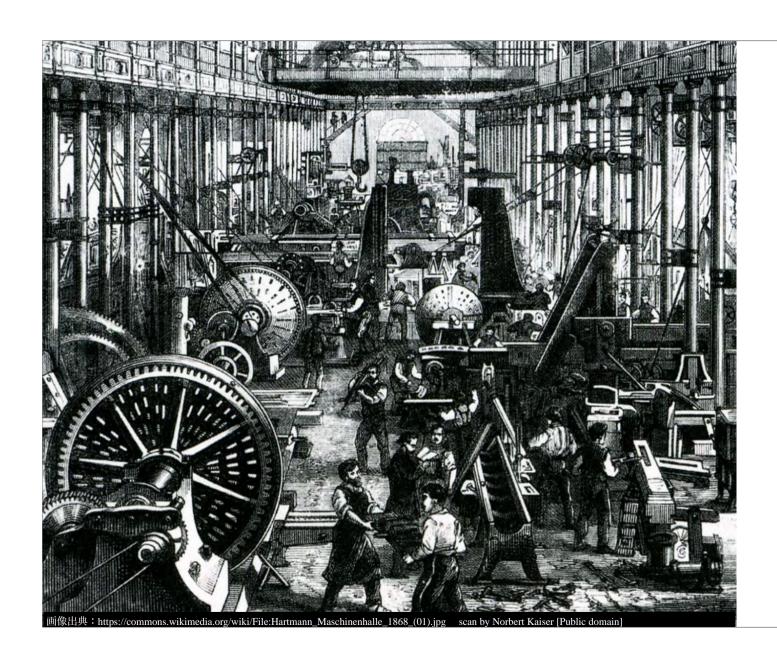
1964年東京オリンピック開催時に外国語(特に英語)によるコミュニケーションをとることができ難い当時の日本人と外国人の間を取り持つために、勝見勝らによって開発されたのが始まりで、1980年代以降、広く使われるようになった。



# ベルツを驚愕させた「日本人の体質」

地図画像出典:人力旧街道ウォーキング https://www.jinriki.info/kaidolist/nikkokaido 写真出典:草津ベルツ記念館





# イギリス 産業革命

18世紀後半から19世紀
イギリからヨーロッパ各地に広がる

工場勤務による労働の画一化



核家族化



ニートの増加

(若年無業者)

# マーガレットサッチャー

1925年10月13日 - 2013年4月8日

家族で一緒に食卓を囲む政策



ニート 1/12に減少

(若年無業者)



By Photograph: Unknown photographerderivative work by Begoon - This file was derived from: ◆ Margaret Thatcher stock portrait.jpg by Begoon ◆ Margaret Thatcher stock portrait.tif by AlbanGeller, Copyrighted free use, https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=84448824

池田勇人内閣 所得倍増計画 1961

東京オリンピック 1964

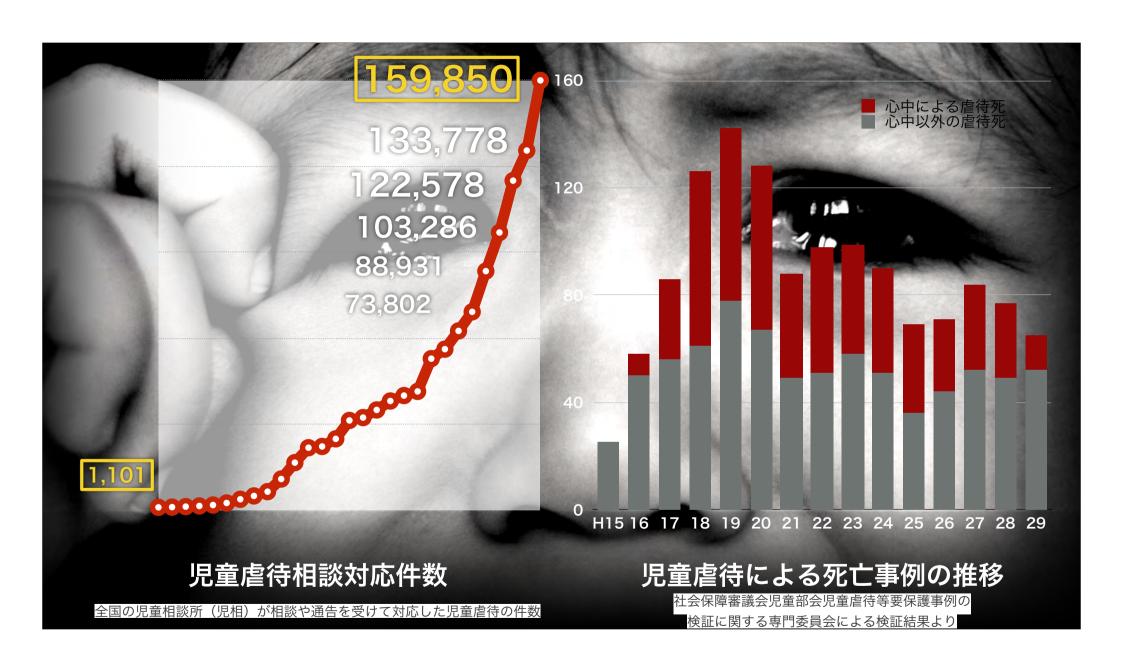
黄金の昭和30年代







高度経済成長期=日本の「産業革命」

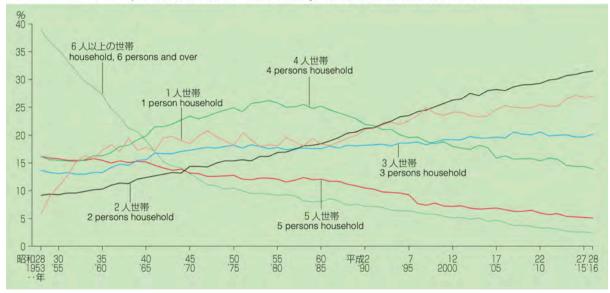




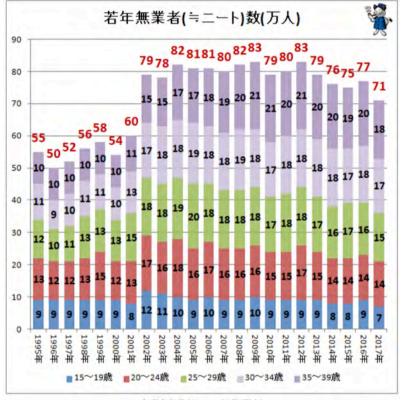
https://news.yahoo.co.jp/byline/fuwaraizo/20180629-00086973/ 不破雷蔵「グラフ化してみる」「さぐる」ジャーナブロガー 検証・解説者

#### 世帯人員別にみた世帯数の構成割合の年次推移

Trends in percent distribution of households by number of household members, 1953-2016

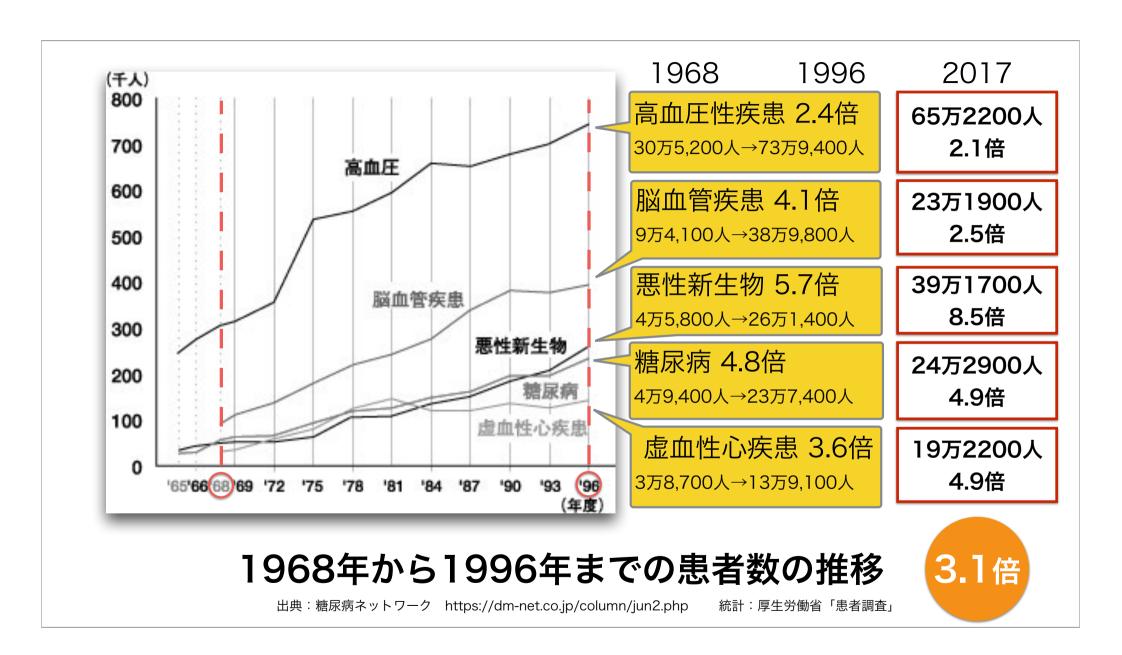


平成30年 国民生活基礎調査(平成28年)の結果からグラフでみる 世帯の状況



↑ 若年無業者(≒ニート)数(万人)

# 増加する核家族とニート (若年無業者)



# 口腔内環境から全身疾患へ

### 肺炎

口腔内の細菌を含んだ唾液が 気管支に入り、誤飲性肺炎を 引き起こすことがある

### 糖尿病

歯周病菌が増えると血糖値を 下げるインスリンの働きが 阻害される恐れがある

## 低体重児出産、早産

歯周病菌の影響で 陣痛が促進され 早産になることがある

### 脳

残っている歯の本数が 少ないと認知症リスクが上がる

### 心臓

歯周病菌と血栓の 関係性が指摘されている

### 骨

骨粗鬆症の人は 歯周病にかかりやすく 重症化しやすい







